

第80回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

平成30年7月4日（水） 18:30～20:00

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 23人

3 本日の自己紹介テーマ 未来

4 会議内容

(1) まちゼミ「なぜ貯蓄から投資の時代なのか」（報告）

みなと銀行の篠原秀一さんにお越しいただき、まちゼミ「なぜ貯蓄から投資の時代なのか」を開催しました。日本経済や世界経済で今何が起こっているのか、どうして今投資の必要性がうたわれているのかについて、丁寧に解説していただきました。

(2) 父の日もパパと図書館で遊ぼう（報告）

親子体操インストラクターの沖本真季さんと一緒に、赤ちゃんを膝の上に乗せて赤ちゃん体操を行い、抱っこひもをつけて赤ちゃんと一緒に運動を楽しみました。講師の沖本さんから赤ちゃんが落ち着く体勢などを教えてもらったパパは、早速お部屋の中で実践していました。

(3) 手技療法士によるセルフリンパマッサージの効用と実践（報告）

池田安久さんに、生活習慣病から来る疲れの緩和や暑い時期にお風呂に入ることの大切さなどの講義をしていただいた後、実際にセルフリンパマッサージを参加者に体験してもらいました。参加者からは、自分でできそうなので家でもやってみようと思う、体がホカホカして気持ちよかった等の感想をいただき、好評でした。

(4) みんなの寺子屋（報告）

子どもから大人まで多数の来場者がいました。特にこども先生の授業は大人気で、定員20名の授業に対し、48名の参加者がいた所もありました。1～5時間目まですべて参加した人も6人程度おり、たいへん盛り上がりました。

(5) 気になる本で話そう（報告）

雨にも関わらず、7才～95才まで17名の幅広い年齢の方が参加してくれました。「未来の年表 人口減少社会日本でこれから起きること」（河合雅司著）を題材に、人口減少と少子高齢化の問題についてなど、自由に意見を交換しました。また秋ごろに開催を予定。

(6) Scratchday in Itami 2018（報告）

文化祭のようなイベントにしたいと今年是一般からも参加者を募り、出店側だけでも50人集まった。野菜を触ったら音が鳴るものや、小学生が作ったブース、実際にプログラミングを体験するものまでバラエティに富んだ内容でした。参加した子どもたちの楽しそうな顔が印象的でした。

(7) 第2回 そろそろPTAについて考えよう会（新規）

PTAという社会問題のように懸念されることが多いが、本来なら保護者と教員が対等に協力して作りあげるものであるべき。

前回は7名で少なかったので、警戒なく参加者を集めるためにはどうしたらよいか。

提案・PTAのプラス要素をもっと出していった方がよいのでは

- ・ポジティブなメッセージやキャッチーな言葉で目を引くようにしてはどうか
- ・PTAについての本をモチーフにしてはどうか

(8) 彗星物語ツアー企画プロジェクト（新規）

宮本輝さんの小説を通じて小学生に伊丹市の魅力を知ってもらおう。小説という縛りの中で今まで触れたことない言葉に触れてもらおう。学校の授業では学べない気になったことだけを調べる楽しみを知ってもらいたい。完成品は夏休みの自由研究として提出できるようにする。

提案・あらかじめ本を準備しておいてはどうか

- ・1日だけではなく、何日かに分けてはどうか
- ・夏休み中の平日も入れて欲しい

課題・誰に何を伝えたいのか明確にする必要がある。目的を1.2個に絞るべき。

- ・小学生には彗星物語は難しいのではないかな。

(9) 夢のカフェ作りを図書館で！勉強する学生を応援する図書館カフェ（新規）

中学生の頃から毎日のように通っていた図書館で、勉強の合間に息抜きのできる場所があったら良いと思っていた。

また、おしゃれなカフェは若者にとって人気であるが、商品の値段が高い。

図書館で安価な値段で商品を提供するカフェを開くことができれば、学生の利用者の助けになるのではないかな。

提案・考えはすばらしいが、図書館で定期的を開くことになれば、営業許可の問題や商品の衛生面の問題等が発生するので、これからどうするか内容を深めていく必要がある。

(10) 親子で楽しむ折り紙飛行機教室（新規）

子どもの頃のように紙飛行機を作って飛ばしてみませんか？

(11) 尼崎×伊丹ディベート（新規）

その他イベント情報はHPをご覧ください

- 4 次回の運営会議 平成30年8月1日(水) 18:30～
図書館ことば蔵1階交流フロア